



県内 Stage2 実施中！ 新型コロナウイルス感染症

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

マスクは正しくつけましょう！

感染症発生動向速報

(令和3年第18週分・5月3日～5月9日)

《インフォメーション》

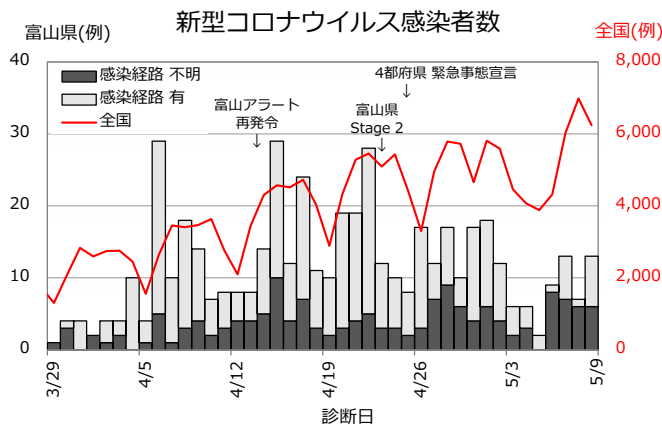
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月9日時点で640,044例となり、10,876例の死亡が確認されています。

全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は増加に歯止めがかからず、病床のひっ迫が続いていることから5月11日期限であった緊急事態宣言は5月31日まで延長され、対象が6都府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置も3道県で追加され、8道県で実施されています。しかしながら、これらの感染拡大地域における新規感染者数の減少は未だ明らかではありません。

県内では、今週56例の新規感染者が報告され、5月9日時点の累積感染者数は1,422例になりました(図;棒グラフ)。連休明けの顕著な感染者の増加は認められていませんが、今後も感染状況の監視が必要です。県内の警戒レベルは引き続きStage 2で、夜間の飲食店では会話時のマスク着用と2時間以内の利用、カラオケ等感染のリスクの高い行動を徹底して回避することが求められています。県内におけるN501Y変異の累積陽性数は288例となり(5月11日時点)、直近の新規陽性者の約6割が変異株(N501Y)による症例です。そのうちゲノム解析を行った55例は全て英国由来変異株(VOC1)でした。この英国変異株は従来ウイルスに比べて感染性が高まるとされています。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき感染対策は同じです。これまで行ってきた対策を確実に継続していくことがとても重要です。

発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 56件
- 二類感染症 結核 3件 (①②ともに80歳代、男性 ③80歳代、女性)
- 五類感染症 梅毒 1件 (第17週診断分:40歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	2.93 (↓)	5.45
2位	感染性胃腸炎	1.86 (↓)	2.83
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52 (↓)	1.03
4位	咽頭結膜熱	0.24 (↑)	0.21
5位	突発性発しん	0.21 (↓)	0.31
6位	マイコプラズマ肺炎	0.20 (↑)	0.00

RSウイルス感染症が例年より増えています！
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2～3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第18週 令和3年5月3日～令和3年5月9日）

分類	疾患	今週報告分（第18週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	6	17		30	2	56	37	102	151	36	485	31	842
二類感染症	結核			3				3	7	3	12	6	15		43
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		5		7
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒									1	2		11		14
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	8	13	29		35		85	73	49	146		483		751
		2.00	4.33	3.63		3.50		2.93							
	咽頭結膜熱		1	5		1		7	17	24	81	1	54		177
			0.33	0.63		0.10		0.24							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		8		4		15	46	27	371	65	135		644
		0.75		1.00		0.40		0.52							
	感染性胃腸炎	17	4	8	6	19		54	309	166	233	48	452		1,208
		4.25	1.33	1.00	1.50	1.90		1.86							
	水痘		1					1	1	6	13	4	18		42
			0.33					0.03							
	手足口病								1		5	1	2		9
	伝染性紅斑									1	5	1	7		14
	突発性発しん	1		2	3			6	22	15	63	28	52		180
		0.25		0.25	0.75			0.21							
	ヘルパンギーナ								15						15
	流行性耳下腺炎								2	2	3	2	2		11
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎			1				1		1	6	1			8	
			1.00				0.20								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）										1	7			8	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です